

Desert Wind

Vol. 34, September 2009

● 神にできないことはない ●

(マルコ 10:17 - 27)

この世の中に絶対に間違いのない統計が一つだけ存在します。それは人間の死亡率が100%であるという統計です。皆さんは、この死という現実と向き合っても希望がありますか。あるいは、死の病に伏している人に向かって絶対的な希望の言葉を語ることが出来ますか。もしそれが出来るなら、あなたが同じ立場に立たされた時に、あなたには希望があります。しかし、もしあなたが死を前にしている人に自信を持って希望の言葉を語れないとしたら、あなた自身、その立場に立たされた時、何の希望も持てないということになります。

さて、マルコ 10:17 - 27 に出てくる人物は、この死に対する備えがない人でした。この人物は金持ちの役人で、何不自由な生活をしていましたが、人から見た姿とは裏腹に心の中は不安と恐れで一杯でした。17 節で、「永遠の命を得るためには何をしたらいいでしょう」と聞いていることから、彼は立派な行いをすれば天国に行けると思い、一生懸命に善行を積みながら生きていたのです。ところが、一向に天国に行けるという自信がない。そこで、彼はイエス様のところに来て、永遠の命を得る方法を尋ねたのです。

イエス様がこの役人に、あなたの知っている通り神の戒めを守りなさいと言われると、役人は、それはすべて小さい時から守っていますと答えます。そこでイエス様は、「あなたに足りないことが一つある。持ち物をみな売り払い、貧しい人々に施して、わたしに従ってきなさい」と言われたのです。

役人は、その言葉を聞いて、顔を曇らせ、悲しみながら立ち去って行きます。彼には多くの財産があったからです。そこでイエス様は、その一部始終を見ていた弟子たちに、「財産のある者が神の国に入るよりは、らくだが針の穴を通る方が、もっとやさしい」と言われたのです。弟子たちは、その言葉に驚いて、「それでは、いったい誰が救われることができるのだろう」と言いました。そこでイエス様は、「人には出来ないが、神には

できる。神は何でもできるからである」とおっしゃった。そういうお話です。

「財産のある者が……」というイエス様の言葉は不思議な言葉ですね。この言葉に対する反応で、弟子たちが金持ちの役人の出来事をどう受け止めたかが分かります。彼らは、この言葉を聞き、驚いて、「それでは、だれが救われることができるのか」と言いました。彼らには財産などいのになぜ驚いたのでしょ。それは、弟子たちが、イエス様が言われた「財産のある者」という言葉が、単にお金を持っている金持ちというだけではなく、自分の善行や正しさを人生の豊かさとし、その豊かさに依り頼んでいる者のことであると理解したからです。そして、そういう意味での豊かさを求め、そこに拠り所を置こうとする思いが自分たちの中にもあると彼らは気づいたのです。

実は、これは生まれつき人間の中にある、潜在的な、天国を目指す方法なのです。誰もが、心のどこかで、良い行いによる自分の豊かさによって天国に行けるのではないかという期待を持っています。天国も地獄も信じないという人でも、心のどこかでそう思っているのです。そういう私たちに対して、イエス様は、「あなた方が神の国にはいるよりは、……」と言われたのです。つまり、「あなた方は絶対に天国にはいけない」という意味です。では一体、誰が救われるのかということになる。そこで、イエス様は、「人には出来ないが、神にはできる」とおっしゃるのです。

人は、自分の努力や良い行いでは永遠の命を得ることなど出来ません。しかし、そんな人間に永遠の命を得させることが、神様にならお出来になる。実は、これはイエス・キリストの十字架の福音を指しています。人間ならば、他人のために自分の全財産を捨てられなくて、イエス様は、財産どころか、ご自分の命までも捨てられた。この、人には出来ない、神にしかできない十字架の業によって、らくだが針の穴を通る以上に救われる可能性のなかった私たちが救われる者となったのです。 LVJCC 牧師: 鶴田健次

DREAMS COME TRUE

- ☞ 教会堂の建設
- ☞ 敬老ホームの設立
- ☞ 幼稚園の設立

お祈りのリクエスト

日本の家族の救いのために

各スモールグループのオikos伝導のために
入門者クラスのために
(華子姉、とよ子姉、田中兄)

英語部の働きのために
小さな子供を持つお母さん方のクラスのために
(香織姉担当)

癒しの祈り: 神崎先生の目、倉田一徳さんの脳腫瘍、新井雅之兄の癌、田口シャイン兄、夕紀子姉の緑内障、美津子姉、かよ姉、さおり姉、Mary 姉、以津子姉、美佐江姉、エナちゃん

Desert Wind では 1400 字程度のお証、また質問を募集しています。ご意見・質問等何でもどうぞ。

lvjccnews@hotmail.com
編集: 真子ガーディナー 松岡みどり

— イスラエルの歴史 ③ —

・ シオニズム運動の誕生

このような背景を受けて、ユダヤ人の中から、ユダヤ人の国家建設を目指す運動が起こってきます。この運動は「シオンの丘に帰ろう」と言う言葉をスローガンにしたことから、シオニズム運動と呼ばれています。1897 年には、テオドール・ヘルツェルの呼びかけで、第1回世界シオニスト会議が開かれ、パレスチナにユダヤ人国家を建設することが決議されました。その後 19 世紀末から 20 世紀初頭にかけて、ポグロムを逃れたユダヤ人やヨーロッパからの移民が、パレスチナの地に住み始めました。

第一次大戦後、パレスチナはそれまで続いたオスマントルコ(イスラム教)の支配からイギリスの委任統治領となります。荒れ果てていたイスラエルには、多くの人々が集まり、活況を呈してきました。イギリスは 1917 年、ユダヤ人の国家再建を約束する「バルフォア宣言」を行います。しかしイギリスは、バルフォア宣言以前にも、アラブ側に同じような取り決め(サイクス・ピコ書簡)を行っていました。当時の二枚舌政策が、今日に及ぶパレスチナ紛争の火種の一つとなっていくます。

・ ホロコースト

このような中、第2次世界大戦において、ドイツで政権を掌握したナチスがユダヤ人を滅亡させるため組織的、計画的にユダヤ人を虐殺(ホロコースト)します。死の収容所と呼ばれる施設で、数百万人を殺害し、死体を炉で焼くという、前代未聞の計画が実施されたのです。この信じがたい事件の背景には、キリスト教が長年の間に積み上げてきたユダヤ人への差別感情があります。当時のヨーロッパには、ユダヤ人は動物と同等の存在だという空気があったのです。

・ 建国とその後の歩み

ナチスのユダヤ人迫害を生き延びた多くのユダヤ人たちは「自分たちの国を持つしか無い」と考え、パレスチナの地を目指すようになりました。そして、当時イギリスの管理下だったパレスチナでは、ユダヤ人とアラブ人の争いが激化してきました。こうした状況に対処するため、

1947 年に国連でパレスチナをユダヤ国家、アラブ国家、国連関連管理地区の3つに分ける分割案が採択されました。その決定をユダヤ側は受け入れたのですが、アラブ側は拒否しました。翌 1948 年 5 月 14 日、イギリスによる委任統治期間が終了後、テルアビブで初代首相ベングリオンによる独立宣言が行われます。しかしその翌日、周辺のアラブ諸国がこれを認めず、武力攻撃を開始しました。周囲をアラブに囲まれ、イスラエルの小さな軍隊ではまったく勝ち目がないと思われていたのに、この戦争にイスラエルは勝利します。これ以後、イスラエル軍とアラブ軍との間で何度も戦争が行なわれています。

・ 1948~49年 独立戦争(第一次中東戦争)

独立宣言直後に始まったこの戦争は、国連の停戦勧告を受けて終了しますが、結果はイスラエルが国連分割案より多くの領土を獲得し、エルサレムは旧市街地を含む東地区がヨルダン領に、西地区がイスラエル領になりました。またこのとき、戦争を逃れるために、65 万人というパレスチナ難民が発生しました。この背景には「イスラエル攻撃の巻き添えにならないように、一時アラブ側に避難せよ」とアラブ諸国がパレスチナ住民に呼びかけたことでもあります。また、この戦争の後で、アラブ諸国から数十万人のユダヤ人が追放され、財産を奪われてイスラエルに逃れて来ました。イスラエルはユダヤ人の難民を全て国民として受け入れましたが、アラブ諸国はパレスチナ難民の同化を拒否しました。そして、現在に至るまで「難民」の地位のままにしているため、難民の人口は大幅に増加しており、中東問題の解決をますます難しくする要因となっています。

・ 1956年 スエズ戦争(第二時中東戦争)

エジプトのナセル大統領のスエズ運河国営化宣言により、イギリスとフランスがイスラエルを巻き込んで、エジプトを攻撃しました。この戦争を契機にイギリス・フランスの中東への影響力は後退し、米・ソ両国が中東における主導権を強めてきました。1964 年 5 月にPLO(パレスチナ解放機構)が結成され、武装勢力ファタハによる対イスラエルゲリラ闘争が拡大しました。

(続く)



編集室 便り

残暑厳しいラスベガスですが、皆さんのお過ごしですか? この7月は日本では46年ぶりに皆既日食が見れました。皆既日食の年は「変革の年」といわれるように、今年も、黒人大統領誕生、GM 破綻、日本では政権交代があり、今までの常識を覆すことがありました。ある経済論では、太陽活動と気象循環に密接な関係があるという説もあるそうです。

個人レベルでは、どのような変革があるのでしょうか? 仕事の見直し、家族や友人など大切なひととの関係をリセット。引越など新しい環境にいる方もたくさんいらっしゃいます。そして、神様との関係も見直ししてみるのが一つの改革といえるかもしれません。「主は御力を持てて地を造り、知恵を持って世界を固く据え、英知を持って天を貼られた」エレミア 10:12